

江別市民健康づくり推進協議会

日時 平成29年1月19日（木）

午後6時30分から

場所 江別市保健センター 3階会議室

次 第

1 開 会

2 協議事項

(1) 健康都市宣言（案）に係るパブリックコメント結果について

(2) 健康都市宣言及び今後の取り組み等について

(3) その他

3 閉 会

江別市健康都市宣言(案)のパブリックコメント市民意見 募集結果について

(市民意見募集期間:平成28年11月17日から平成28年12月16日まで)

平成29年1月
江別市健康福祉部管理課

市民意見募集の結果概要

■意見の募集結果

募集期間	平成28年11月17日(木) から 平成28年12月16日(金) まで
提出者数	3名
提出件数	9件

■意見の反映状況

区分	内 容	件 数
A	意見を受けて案に反映したもの	4
B	案に意見の趣旨が既に盛り込まれているものと考えられるもの	1
C	案に反映していないが、今後の参考等とするもの	2
D	案に取り入れなかったもの	1
E	その他の意見	1
	合 計	9

■いただいたご意見の内容等(提出いただきましたご意見は、できるかぎり原文のとおり掲載しております。)

○江別市健康都市宣言(案)について

連番	意見の内容	市の考え方	区分
1	・宣言文において、「健やかな毎日をおくることが」と願いと記載しているにも関わらず、その願いをかなえるためには「健やかな生活をおくることが大切」とある。文脈が繋がらないので、表現を変えるべき。	文脈をより分かりやすいものとするため、「いつまでも健やかな生活をおくることが大切です。」を「いきいきと過ごすことが大切です。」に変更します。	A
	・「健康都市えべつ」とあるが、なぜ「江別」がひらがな表記なのか。漢字にするべきではないか。(使い分けの理由を。)	宣言の名称につきましては、市の他の宣言の表記とも合わせ「江別市健康都市宣言」としていますが、本文中の表記については、より市民の皆様に関心と親しみを持っていただくため、ひらがな表記の「えべつ」としているものです。	D
	・「関心をもち続けます」とあるが、なぜ「持つ」がひらがな表記なのか。漢字にするべきではないか。(「関心をもちろん続けます」の略なら、このままでもかまわないが。)	表現をより分かりやすくするため、ご意見のとおり「持ち」に変更します。	A
	・「自ら」や「守る」という表記が項目文の中に重複している。読みづらいので、どちらかを他の表記に変更すべきではないか。	重複した箇所、読みづらい表現を整理の上、項目文1の前段の「自ら」を削除し、項目文2の前段を「みずからの健康を守るため」に変更しました。	A
	・「よい食事で、生活習慣を守る」や「適度な運動で、生活習慣を守る」という表現に違和感を覚える。公的な文書として相応しくないため、「適度な運動により」等に変更すべきではないか。	表現をより分かりやすくするため、ご意見のとおり「適度な運動により」に変更しました。	A
	・今回、意見の対象外となっているが、宣言の趣旨に「健康都市宣言を行うことにより」「健康意識の向上と健康づくりの推進に努める」とあるが、宣言の存否に関わらず、そのような施策を市民に浸透させることが市役所の仕事ではないか。宣言そのものが本当に必要なのか。再考を。(今後の取り組み内容と記載があるものも特段目新しいものが見当たらない。今回の宣言作成は、宣言すること自体が目的なのでは。)	今回の健康都市宣言については、行政の取り組みのみならず、市民や地域社会が一体となって健康づくりに取り組むことを宣言するものであり、宣言はそのきっかけとなるべきものと考えています。	E

	<p>・「一 健康推進のため、受動喫煙防止、及び禁煙推進を進めます。」を追加してはどうでしょうか。</p>	<p>項目文3の「正しい生活習慣」は、食生活と運動の他にも喫煙とアルコール、睡眠と休養、こころの健康、口腔ケアなど生活習慣全般を指しているため、ご意見のありました項目についても含まれているものと考えています。</p>	<p>B</p>
<p>2</p>	<p>・住民の健康寿命を延ばし、重症化予防、要介護の減少のため、また子ども・妊産婦・アレルギーなど感受性の高い方を含めた非喫煙者を受動喫煙の危害から守るために、健康の基本として、この課題の重点施策をお願いします。</p> <p>(1)タバコ(喫煙及び受動喫煙)は、早期死亡、健康寿命の短縮、要介護の増加など、健康破壊に第一の要因になっているとのエビデンスが蓄積していることから、活用可能なあらゆる機会を通してその周知・対策徹底を図る必要があります。</p> <p>(2)今進められている国の「受動喫煙防止法の制定」を見越して、管轄内公共施設・場所の屋内全面禁煙の自主的实施が望まれるので、市町村出先や関係機関を含め周知・要請もお願いしたいところです。</p> <p>(3)タバコ特に受動喫煙の危害防止について、公共性の高い施設において子ども・妊産婦を守ることを最優先に全面禁煙ルールを確立して順次広げていくことや、幼稚園や小中学校をなどの保護者への禁煙促進の働きかけや啓発・講習等を行う必要があります。</p> <p>(4)子ども・青少年の喫煙防止とともに、親や妊産婦・家族が喫煙している場合は禁煙を促す抜本的施策などが必要です。</p> <p>(5)禁煙サポートの推進で、特定健診やがん検診等の場合は40歳以上であったり、より若い20歳前～30歳代・未成年者への禁煙サポートに重点を置いたやり方が求められています。</p> <p>・禁煙治療の保険適用について、喫煙指数が200以上などの制約がありましたが、中医協の改定で、今年4月からは35歳未満の若い世代は適用外になりますので、この施策の重要性を進めていただきたいです。</p>	<p>受動喫煙の防止等につきましては、理念としては、「正しい生活習慣」に含まれているものですが、ご意見のありました具体的な施策については、今後の健康づくりに関する取り組みの参考とさせていただきます。</p>	<p>C</p>

	<p>(6)男女共同参画、特に女性の健康づくりの推進に関連して、禁煙と受動喫煙の危害防止は「生涯を通じた女性の健康づくり」にとっても必要です。</p> <p>(7)歯周病だけでなく、口内炎や舌がん、食道がんなども喫煙・受動喫煙と因果関係が多々あることから、これらを強調した啓発と対策が必要喫煙・受動喫煙の危害対策は、中長期的にも、タバコを吸えない社会環境づくりとして男女の喫煙率を低減させていく上で極めて有効で、住民の健康支援となり、健康寿命の延伸に大きく寄与すると考えます。</p>		
3	<p>・健康都市宣言について、そんな形式的なものなど作るより、具体的なもの、例えば健康づくりのために年寄りの外出を増やすような宣言をしてもらいたい。隣の村で運転免許返納者に6万円をあげているようだが、あんなものは納税者に対して極めて不公平なので江別では絶対やらないでほしい。父は既に免許が無効になっているし、母は免許をもともと持っていない。免許を持っていないからといって12万円も損をするような話は到底納得できない。運転免許の保有有無に関わらず年寄り全員に対して外出を促すような補助を考えてほしい。方法としては現金ではなくチケットがいい。であれば、貯金にもまわすことができず、手元にあるチケットを使って外出することが考えられるからである。</p> <p>健康都市宣言をするのであれば、形式的な文言をダラダラ並べるのは意味が無いので、「市内全ての年寄りに交通チケットを配布する！」というような具体的な宣言、市としての意思表示をお聞かせ願いたい。</p>	<p>今回の健康都市宣言については、市民、地域社会、行政が一体となって取り組むべき大きな目標について宣言を行うものです。ご意見のありました具体的な施策につきましては、今後の高齢者が外出し、社会参加するための取り組みの参考とさせていただきます。</p>	C

(パブリックコメント文)

江別市健康都市宣言（案）

都市と自然が調和するまち江別で、元気で健やかな毎日をおくることは、
私たち市民すべての願いです。

この願いをかなえるには、世代をこえて市民一人ひとりが、住み慣れたま
ちで健康づくりに取り組み、いつまでも健やかな生活をおくることが大切で
す。そのために、健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるまち
をめざして、ここに「健康都市えべつ」を宣言します。

- 一 生涯を通じて自ら学び、こころと体の健康に関心をもち続けます。
- 一 健康を自ら守るため、すすんで自分の健康状態を確かめます。
- 一 バランスのよい食事や適度な運動で、正しい生活習慣を守ります。
- 一 地域とのつながりを大切にし、健康づくりの輪を広げます。

(変更案)

江別市健康都市宣言（案）

都市と自然が調和するまち江別で、元気で健やかな毎日をおくることは、私たち市民すべての願いです。

この願いをかなえるには、世代をこえて市民一人ひとりが、住み慣れたまちで健康づくりに取り組み、いきいきと過ごすことが大切です。そのために、健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるまちをめざして、ここに「健康都市えべつ」を宣言します。

- 一 生涯を通じて学び、こころと体の健康に関心を持ち続けます。
- 一 みずからの健康を守るため、進んで自分の健康状態を確かめます。
- 一 バランスのよい食事や適度な運動により、正しい生活習慣を守ります。
- 一 地域とのつながりを大切にし、健康づくりの輪を広げます。

◇宣言の解説

(1) 宣言文（本文）

私たちの住むこの江別は、歴史と文化が刻み込まれている母なる川「石狩川」や、市街地の身近に緑を感じることでできる「原始林」など豊かな自然に恵まれているとともに、大学など充実した教育拠点を持つ文教都市であり、都市と自然が調和する美しいまちです。このまちで生涯をおくる私たちが、元気で健やかに毎日を過ごし続けられることが、私たち市民みんなの願いであることを改めて確認します。

そして、この願いをかなえるために重要なこととして、世代にかかわらず、乳幼児期から高齢期までそれぞれのライフステージで自分に応じた健康づくりに取り組むこと、また、住み慣れた地域全体で健康づくりに取り組むことを挙げています。

その上で、この江別のまちが目指すところは、病気や要介護となる期間を減らし、健康寿命を延ばすことであることを述べ、「健康都市えべつ」を宣言いたします。

(2) 項目文

宣言の大きな趣旨は宣言文で述べましたが、宣言文の願いをかなえるために市民一人ひとりが取り組むべきことを4項目に分けて述べています。

・ 1つ目は、こころと体の健康に関心を持つことです。乳幼児期から高齢期まで、生活リズムや生活習慣病についての知識を持ち、各種の講座などで積極的に学び続けることにより、生涯を通じて健康意識を高めることが重要です。

・ 2つ目は、進んで自分の健康状態を確認することです。各種の健（検）診を積極的に受けて健康状態を確認するほか、既に病院にかかっている場合は、病気が進行しないよう治療を続けることが、自分の健康を自分で守ることにつながります。

・ 3つ目は、正しい生活習慣を守ることです。地元の新鮮で安全・安心な食材の利用や塩分を控えることにより、栄養バランスを保つことができます。また、日常的に体を動かす習慣をつけることで、体の機能を維持することができます。

・ 4つ目は、地域での活動に参加し、健康づくりの輪を広げることです。住み慣れた地域の健康づくり活動や自治会、ボランティアなどの地域活動に積極的に参加することで、地域全体の活力と健康意識を高め、みんなで支え合う地域づくりを実現することができます。

健康都市宣言後の取組みの考え方について

健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるように、市民や自治会、関係団体、行政等の多様な主体との協働により、また、江別市がもつ豊かな自然や立地性などの地域特性や大学、研究機関等の地域資源を生かして、4つの目標を立てて取り組みます。

健康寿命の延伸に向けて

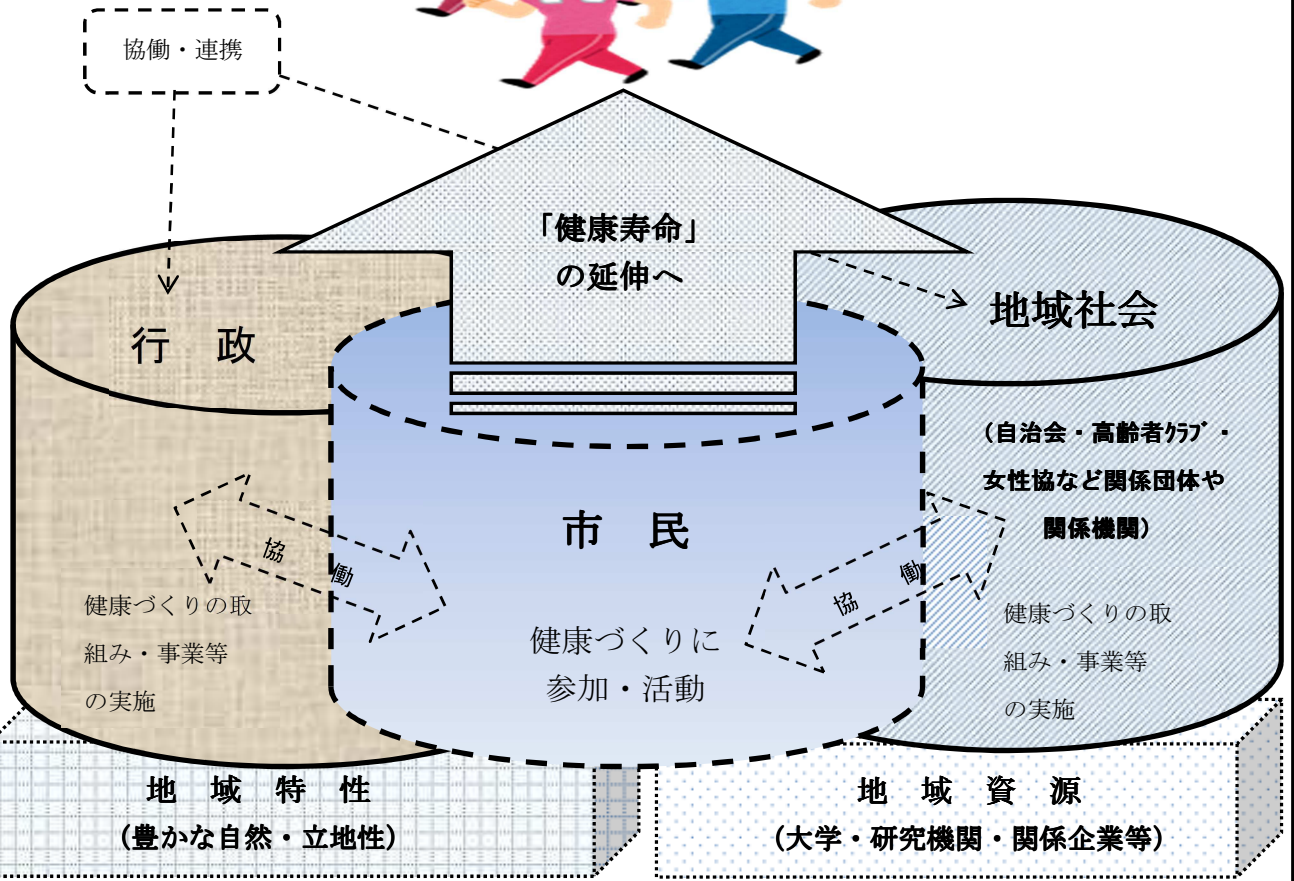
(4つの目標)

- 1 健康に関心を持ち続けましょう
- 2 健康状態を確かめましょう
- 3 正しい生活習慣を守りましょう
- 4 健康づくりの輪を広げましょう

(主な取組項目)

- 健康状態のチェック
- バランスのとれた食生活
- 運動・スポーツ活動の習慣化
- 健康づくり活動
- 生きがいづくり活動
- 自治会やボランティア等の活動

【 イ メ ー ジ 】



「健康寿命の延伸」に向けての目標・取組内容等について(江別市)

江別市 健康都市宣言	目標	主な取組項目	主な取組内容・事業等(現在)	指標	実績年度	数値	基準年度	数値	目標年度	数値
	<p><宣言文> (案)</p> <p>都市と自然が調和するまち江別で、元気で健やかな毎日を送ることは、私たち市民すべての願いです。</p> <p>この願いをかなえるには、世代をこえて市民一人ひとりが、住み慣れたまちで健康づくりに取り組み、いきいきと過ごすことが大切です。そのために、健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるまちをめざして、ここに「健康都市えべつ」を宣言します。</p> <p><項目文></p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯を通じて学び、こころと体の健康に関心を持ち続けます。 みずからの健康を守るため、進んで自分の健康状態を確かめます。 バランスの良い食事や適度な運動により、正しい生活習慣を守ります。 地域とのつながりを大切に、健康づくりの輪を広げます。 	健康に関心を持ち続けましょう	健康状態のチェック	成人検診推進事業	5がんの平均受診率	25年度	15.9%	27年度	17.1%	30年度
<p>健康都市えべつ</p> <p><目的></p> <p>健康寿命の延伸を図る</p> <p>○健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるように、市民や自治会、関係団体、行政等の多様な主体との協働により、また、江別市が持つ豊かな自然や立地性などの地域特性や大学、研究機関等の地域資源を生かして、4つの目標を立てて取り組みます。</p>	健康状態を確かめましょう	健康状態のチェック	特定健康診査等事業	特定健診受診率	23年度	20.4%	26年度	25.1%	30年度	30.0%
	健康状態のチェック	乳幼児健康診査	乳幼児健康診査平均受診率	24年度	96.0%	27年度	97.6%	30年度	97.6%	
	正しい生活習慣を守りましょう	バランスのとれた食生活	各学校の全体計画に基づき栄養教諭が「食に関する指導」を実施	指導学級の割合	22年度	77.9%	27年度	85.7%	30年度	→
	運動・スポーツ活動の習慣化	スポーツ推進事業	運動・スポーツ活動(成人週1回以上)実施率の向上	24年度	23.6%	24年度	23.6%	30年度	→	
	運動・スポーツ活動の習慣化	スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進	30分、週2回以上の運動を心がけている人の割合	25年度	33.5%	27年度	31.9%	30年度	40.0%	
	健康づくり活動	健康づくり活動	各種健康づくり事業(健康講演会・健康体操等)	健康づくり推進事業参加人数	24年度	9,604人	27年度	8,336人	30年度	10,000人以上
	健康づくりの輪を広げましょう	生きがいづくり活動	生涯学習機会の情報提供	生涯学習の成果を地域の社会活動やボランティア活動に活かしている市民割合	24年度	23.3%	24年度	23.3%	30年度	→
	自治会やボランティア等の活動	ボランティアセンターの運営(社会福祉協議会)	ボランティアセンターに登録している人数(社会福祉協議会)	22年度	1,700人	27年度	1,772人	30年度	1,814人	
	自治会やボランティア等の活動	愛のふれあい交流事業(社会福祉協議会)	愛のふれあい「地域交流の集い活動」実施自治会数(社会福祉協議会)	22年度	82自治会	27年度	98自治会	30年度	107自治会	

目標年度は、「えべつ未来づくりビジョン」の期間(改定)に合わせるものとする

○健康都市宣言に関連する構想

- 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 江別版CCRC構想
- 北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区
- 地域包括ケアシステム

○その他の指標

- 特定保健指導利用率
- 受診勧奨判定値以上者の医療機関受診率

○その他の指標

- 毎日野菜を食べている人の割合
- 塩分を控えている人の割合
- 朝食を食べている人の割合
- 地場産野菜の使用割合

○健康都市宣言に関連する計画

- 地域福祉計画
- えべつ市民健康づくりプラン21
- データヘルス計画
- 特定健康診査・特定保健指導実施計画
- 高齢者総合計画
- 障がい者支援・えべつ21プラン
- えべつ・安心子育てプラン
- 社会教育総合計画
- スポーツ推進計画
- 学校教育基本教育
- 食育推進計画

○その他の指標

- 身体障害者スポーツ教室・体育開催事業参加者数
- E-リズム参加延人数

○その他の指標

- 介護予防教室等の参加者数
- 健康セミナー等の参加者数

○その他の指標

- 市民カレッジ手帳登録者数(累計)
- 蒼樹大学・聚楽学園学生数

○その他の指標

- 高齢者等社会参加促進バス助成事業の助成回数
- 江別市立病院ボランティア・コスモスに登録している人数
- アダプトプログラムで清掃活動を行っている公園数
- 自治会活動等支援事業セミナー参加者数
- 協働事業参加団体数

健康都市宣言策定に至る協議経過等について

○協議経過

平成28年 7月11日（月）

- ・第1回江別市民健康づくり推進協議会
江別市が江別市民健康づくり推進協議会（委員17名）に対し、健康都市宣言の策定に関する協議要請

平成28年 9月 5日（月）

- ・第2回江別市民健康づくり推進協議会
健康都市宣言（案）についての協議

平成28年10月 6日（木）

- ・第3回江別市民健康づくり推進協議会
前回の会議を踏まえ、健康都市宣言（案）についての協議

平成28年11月 7日（月）

- ・第4回江別市民健康づくり推進協議会
前回の会議を踏まえ、健康都市宣言（案）についての協議
江別市健康都市宣言案（パブリックコメント用）の確定

〔平成28年11月17日（木）～平成28年12月16日（金）〕
・市民意見を反映させるためのパブリックコメントの実施
提出者3名、意見数9件

平成29年 1月19日（木）

- ・第5回江別市民健康づくり推進協議会
市民意見を反映した江別市健康都市宣言案についての協議
江別市健康都市宣言（最終案）の確定

○江別市民健康づくり推進協議会における委員から頂いた主なご意見

1	○具体的にやさしい方法を取入れるよう工夫されたい。
2	○運動を進める施設の問題を解決しないと活動できないのが現状。
3	○2年計画、3年計画で重点項目を決めて、第1期計画、第2期計画として、目標を定めて取り組まされたい。
4	○予防医学のように40代、50代からの健康づくり意識を高める方策に力を入れ、不健康になる前に積極的に運動に取り組める楽しい事業を進められたい。 (個々人に対応しながら、いろいろな運動・スポーツの目標値を設定、楽しみながら運動・スポーツができるメニューを示し、できるだけ運動・スポーツを若い時から取り組めるソフト・ハード面の充実を図るべき。このことが健康寿命の延伸へ。) 医療費の圧縮につながる積極的な健康づくり事業を検討されたい。
5	○運動、スポーツの普及方法として、最初は、サークル教室、サークル作りを積極的に取り組み、活動助成を行い、運動・スポーツの定着を図ることについて検討されたい。
6	○体育館等会場利用を利用しやすい料金を検討されたい。
7	○健康というキーワードで地域を作っていこうとする都市が健康都市だから、一人ひとりの意識・心がけも大切であるが、もっと家族で取り組みやすい内容を検討されたい。
8	○例えば、希望者に対し、小学校6年生の生活習慣病健康診査の実施。
9	○特定検診・がん検診も含め、健康づくりの実践をポイント化し、何か特典を付与する方法について検討されたい(健康づくりの特典)。
10	○スポーツや健康関係で、大学との連携について図られたい。
11	○人の体で痛めやすく重要な部分は足、膝、腰、首の部分かと思う。これらの部分を鍛え、体全体を柔らかくし怪我に強い身体を造るためにはストレッチと筋肉トレーニングが大切になる。 このように、健康寿命を延ばすには、とりあえず取り組みやすいストレッチの普及を進め、怪我に強い身体づくりと運動する習慣づくりを図られたい。
12	○対象者が多いと移動しづらいため、自治会単位の集会施設や体育館施設を活用し、ストレッチ用マット等の用具の整備を進めてストレッチや軽運動等の普及について図られたい(最初は、指導体制も必要)。
13	○江別、野幌、大麻にあるトレーニング施設は手狭であり、拡充も極めて重要。
14	○若い時からの意識改革が必要。
15	○健康福祉部ばかりではなく、教育委員会などと連携を図る必要がある。健康寿命の延伸に向けての取り組みは、他の機関との協力や参加が必要。
16	○高齢者の健康づくりには、低栄養予防が重要。

○各団体等における「健康寿命の延伸」に向けての取り組み・活動状況一覧

団体等の名称	取り組み・活動状況
一般社団法人江別医師会	① がん他成人検診推進事業 ② 特定健診事業 ③ 乳幼児健診事業 ④ 学校医他学校保健推進事業 ⑤ 市民向け健康教室主催・後援
一般社団法人札幌薬剤師会 江別支部	札幌薬剤師会として、 ① くすりとくらしの健康教室の実施 ② 各種健康フェア等への参加 ※江別支部としては H29 から参加予定
江別市高齢者クラブ連合会	高齢者クラブに参加することで、閉じこもりの防止、健康の保持・増進につながり、連合会及び各単位クラブが行う各種スポーツ活動への参加を通して高齢者の心と体の健康を実現している。 ① 大運動会の開催 毎年6月 参加者約800名 ② 健康優良者の表彰 シルバーウィーク開会式に表彰 85歳以上 20名を表彰 (平成27年度まで83歳以上) ③ ゲートボール大会の開催 毎年9月 約5チーム 30名参加 ④ パークゴルフ大会の開催 毎年9月 144名参加 ⑤ 体力測定会の実施 毎年10月 約80名参加
野幌地区高齢者クラブ 地区 連絡協議会	① パークゴルフ大会 毎月第4月曜日 4月～10月 ② グリーンボール大会 年1回

<p>単 位 ク ラ ブ</p>	<p>しらかば親和会</p>	<p>① 行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ記録会 年2回（6月、9月） ・走こう会 年2回（6月、9月） <p>② サークル活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卓球同好会 毎週木曜日 ・ウォーキングサロン 毎週火曜日 ・ニコニコ体操クラブ 毎週金曜日 ・マーじゃん同好会 毎週木曜日
	<p>野幌東町みどり会</p>	<p>① 健康づくり運動</p> <p>平成29年4月から、ストレッチを主体にEーリズム体操を加えた体操会を月1～4回実施に向けて検討中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加予定人数 30～40名程度 ・参加者の年齢 70～80歳 <p>※野幌東町自治会も同様</p>
	<p>江別市自治会連絡協議会</p>	<p>検診率の向上を健康寿命の柱として推奨する。</p> <p>① 特定健康診査等事業への推薦</p> <p>8自治会 193人参加（平成27年度）</p>
	<p>江別市社会福祉協議会</p>	<p>① ボランティアセンターの運営</p> <p>心豊かに暮らせる地域づくりの一環として、市民が身近な地域でボランティア活動に参加できる機会を提供</p> <p>② 愛のふれあい交流事業（愛のふれあい活動・地域交流の集い活動）</p> <p>自治会を中心とした高齢者の方などへの安否確認を兼ねた声掛けや挨拶、交流の集いなどを通じて、身近な地域に目を向け交流する機会として実施</p> <p>③ 給食サービス事業（市受託事業）</p> <p>調理や買い物が困難な高齢者や障がい者の世帯の方にバランスのとれた食事を提供することにより、健康保持を図ることを目的に実施</p>
	<p>江別市女性団体協議会</p>	<p>江別市オリジナルのエクササイズEーリズムの推進</p> <p>① 理事会研修にて講習会を実施し、各自治会女性部に推進している。</p> <p>② 「江別市女性大会」「製品安全セミナー」で来場参加者にEーリズムを紹介している。</p>

江別市体育協会	<p>① 24の加盟競技団体が健康づくりと競技力向上に向けて、活動していることに対する支援</p> <p>② 41のスポーツ少年団が健康づくりと社会性を培うことを基本に、競技力の向上に向けて活動していることに対する支援</p> <p>③ 市民やスポーツ愛好者が活動するスポーツ施設の環境整備に努めている。</p> <p>※体育協会は競技団体の総括的団体</p>
江別保健所管内栄養士会	<p>高齢期に要介護状態になることを予防するための知識を広めている。</p> <p><規約> 地域住民の栄養改善と健康づくりに寄与することを目的とする。</p> <p>① 男性調理教室（H22から実施） 6～10月（月1回実施）約100名参加 ※健康に関する講話も取り入れ</p> <p>② 発信事業（H20から実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低栄養予防教室 ・メタボ対策教室 ・貧血予防教室 ・糖尿病予防教室 <p>いずれも講話と調理実習をセットで実施 その他に、平成29年2月19日「免疫力を高める」をテーマに講話と調理実習を組み合わせ実施予定</p> <p>③ 講演活動 教育委員会主催のリレー講座「健康寿命を延ばそう」のテーマとした「食べることは生きること、健康寿命を延ばしましょう～食からの提案～」と題する講演活動</p>
江別消費者協会	<p>① 地産地消の推進</p> <p>② 安心・安全な農産品の購入推進</p> <p>③ 食品添加物への関心を高める</p> <p>以上の項目に対し、当協会の事業（消費者のひろば、消費者大会、料理教室等）で広く関心を高めてもらうよう活動している。</p>

北海道江別保健所	<p>札幌圏域健康づくり事業行動計画に基づき生涯を通じた栄養、運動、休養等に関する総合的な健康づくりを推進している。</p> <p><平成27年度実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市町村健康増進計画の推進に向けた助言・指導 ② 地域・職域連携推進連絡会江別部会の開催 ③ どさんこ食事バランスガイドの普及啓発 ④ おいしい空気の施設推進事業 ⑤ こころの健康相談 ⑥ 電話・来所相談
----------	---

※地域社会の取り組みや活動状況の具体例として、江別市健康都市宣言の策定に協議していただいた江別市民健康づくり推進協議会委員が所属する団体等において「健康寿命の延伸に向けての取り組みや活動状況について」の回答のあった内容を掲載しております。

○江別市民健康づくり推進協議会委員

No.	機 関 ・ 団 体 名	氏 名	備 考
1	北海道石狩振興局保健環境部	一色 学	
2	一般社団法人江別医師会	笹浪 哲雄	会長
3	一般社団法人札幌歯科医師会江別支部	菅原 貞徳	
4	一般社団法人札幌薬剤師会江別支部	高橋 博道	
5	社会福祉法人江別市社会福祉協議会	中川 雅志	
6	江別市自治会連絡協議会	阿部 実	
7	江別保健所管内栄養士会	尾澤 典子	
8	江別市食生活改善協議会	伊藤 洋子	副会長
9	江別市民生委員児童委員連絡協議会	山田 昌次	
10	江別消費者協会	本山 洋子	
11	江別市女性団体協議会	武田 陽子	
12	連合北海道江別地区連合	伊藤 亮子	
13	江別商工会議所	中野 亮二	
14	江別市高齢者クラブ連合会	小林 タカ子	
15	江別市体育協会	鎌倉 猛	
16	江別市私立幼稚園連合会	細野 みゆき	
17	一般市民公募	水谷 貞夫	